

スマート・ウエルネス・ラボ R5 年度取組報告

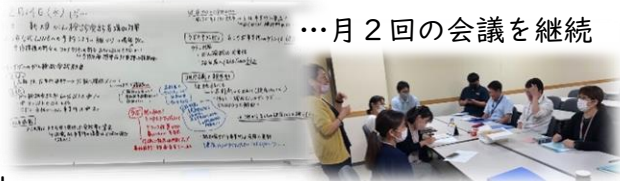
■ 活動状況

＼2つの事業を開催／

○ R5.10.28(土)Walking イベント



○ R5.12.9(土)コラボ☆ラボ ワークショップで市民意見を聞く



■ 3つの研究課題への取組状況

1. **誰もが知る「歩くことが健康に良い」ということに改めて取り組んでみる。**

 - 歩きたくなるまちづくり×健康づくり PARK DAIKANYAMA で行われる夜のイベントとコラボ実施
 - 参加者85名 26%が30才未満→若い世代へイベントが響いた!
また歩いてみたい…91.5% ウォーキングを始めてみたい…77.5%
2. **健康に興味の無い人へのアプローチの方法を探る意味で、新規の健(検)診受診者を増やすには?を研究する。**

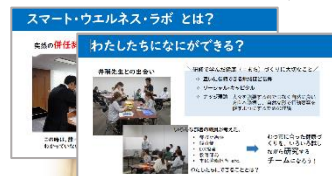
 - 理想は、いつでも健診を受けられる…は難しいので、まずはいつでも気軽に申込める方策を検討。例) LINE のリッチメニューに健診申込ボタンを作成
 - すこやかサポート事業所(現在62)に対して、新たにステップアップした認証制度を創設。従業員が、がん検診60%を達成した事業所に★★★を与え、企業イメージ向上につながるような連携 例) 広報むつで紹介
3. **長期的な視点も一つ加え、次世代に向けた子どもの健康づくりのために取り組むべきことは?を研究する。**

 - 健康増進計画や「コラボ☆ラボ」でむつ市の課題として挙げられた課題を整理している段階。課題設定後、取り組むべき事を研究予定。

■ これまでの振り返り

ラボメンバーによる上記3つの研究課題の設定、事業の実施方法、健康課題へのアプローチ等は、健康づくり担当者以外の視点や関わり方がそれぞれあり、部局横断的な組織を創設した効果はあったと考える。ただし、これら取組が平均寿命・健康寿命延伸へとつながるまでは、長い時間を必要とする。

ラボの取組を発表



○ R5.11.4 健康のまちづくりサミット in 千葉県市原市